

健康経営宣言

基本方針

当社は、「社員一人ひとりの健康が、ものづくりを支える経営基盤である」との考えの下に、心身ともに健康で安心して働ける職場づくりを経営の重要課題として位置付け、全社を挙げて健康経営を推進することを宣言します。

これに当たっては、経営者自らが率先して健康づくりに取り組むとともに、総務部門、安全衛生委員会、社内に設置した健康推進プロジェクトチームの三者が連携し、社員の健康課題の把握から、具体的な施策の実行、実施記録、評価までを一体的に推進する体制を整えます。

飯田精機株式会社 代表取締役社長 近藤 英二

当社は、次に掲げる方針により健康経営を推進します。

1. 経営層主導による推進体制の構築

経営者自らによる健康宣言の発信に加え、総務部門及び各部門社員からなる健康推進プロジェクトチームによる実行計画の策定とその実行に向けた役割分担、40歳以上の社員の健診データの保険者との情報共有体制の運用など、実務を着実に担う組織基盤を整備します。

2. 社員の健康課題の把握と保健指導の充実

健康診断結果やストレスチェックの分析、産業医や公的保健機関との連携、管理職による丁寧な個別面談等を通じて社員の健康課題を把握し、2030年度を目標年度とする数値目標の下で計画的な取組みを進めます。

また、遠隔地に勤務する社員へのオンライン特定保健指導の提供など、社員が受診しやすい環境づくりにも努めます。

3. 心と身体の健康づくりに向けた具体的な取り組み

健康管理アプリや体組成計の活用による食生活・体重管理の支援、ラジオ体操の実施、職場内運動器具・社内へのジムの設置など、社員が日常的に運動・食生活の改善に取り組める環境を整備します。

あわせて、インフルエンザ予防接種の費用補助、受動喫煙対策、長時間労働者に対する産業医面接と上長面談の実施など、心身両面からの健康リスク低減に取り組めます。

4. 働きやすい職場環境の整備

就業規則に基づく残業事前申告制度、勤務間インターバル制度、時間単位の年次有給休暇取得制度の運用、定時退勤奨励日の設定等を通じて、長時間労働の是正と柔軟な働き方の実現を進めます。

安全衛生委員会が超過勤務状況を確認し、各部門長へ改善を働きかける体制も維持します。

5. ライフステージに応じた多様な人材への支援

育児・介護と就業の両立に向けた制度説明会の実施や規定の整備、女性特有の健康課題への理解促進（婦人科がん検診の補助、妊娠中の社員への配慮等）、高年齢社員の体力・特性に応じた業務配慮、私病治療と就業の両立を支える相談窓口の設置など、多様な社員が安心して働き続けられる支援体制を整えます。

6. コミュニケーションの活性化と地域とのつながり

社内親睦組織である「睦会」による社内旅行やスポーツ大会の開催、業界団体の行事や、地元の喬木村地域でのイベントや祭事への参加など、社員間及び地元地域社会とのつながりを深める取組みを継続し、深めます。

7. 評価・改善によるPDCAサイクルの推進

実施した取組みの結果を経営層と健康推進プロジェクトチームが確認するとともに、外部の専門家による評価を受け、その結果を次の取組みの見直しに反映させることで、継続的な改善を図ります。

当社は、社員一人ひとりが心身ともに健康でいきいきと働き、その力を最大限に発揮できる企業を目指し、今後も健康経営を継続的に推進していきます。